

広報資料

平成19年7月9日

株式会社 東京放送
企業価値評価特別委員会
委員長 北村 正任

本日午後4時より約2時間、委員長のほか、岡部敬一郎委員、西川善文委員、岩倉正和委員、竹原相光委員、宍戸善一委員の計6名全員が出席して、第12回「企業価値評価特別委員会」（以下「委員会」）が開かれました。以下は、その概容です。

- 本日の委員会では、「当社株式にかかる買収提案への対応方針」にもとづく会社からの諮問に関連して、6名の委員が、必要情報の収集のために、楽天株式会社の三木谷代表取締役会長兼社長から、約2時間のインタビューを行なった。インタビューに関しては、委員会側の専属財務アドバイザー（JPモルガン証券）も同席して補足の質問を行ない、一方、楽天側からも補助説明者として3名が同席して回答を行なった。
- 楽天側の希望もあったことから、ヒアリング実施に先立って、委員会は、予め質問項目を楽天側に通知して書面による一定の回答を得ており、本日は、その回答を前提にインタビューを行った。
書面による質問項目は、① TBS株式の取得と業務提携によるシナジー等の分析 ② 過去から将来に亘るTBS株式大量取得の意図と理由等 ③ 全方位的業務提携を基本とするTBSの経営方針に関する見解等 ④ 放送事業・報道機関における社会的責任と収益性に関する見解 ⑤ TBS株式の大量取得によるTBSの企業価値等への影響分析 ⑥ TBSの資産に関する見解 ⑦ これまでの株式大量取得の経緯等 ⑧ 野球協約問題 ⑨ 楽天グループにおけるコンプライアンス体制と今後の対応等についての9項目である。
委員会では上記質問書面にそって質疑が行なわれ、午後6時すぎにインタビューを終了した。

以上